

●肺癌 1

【年齢・性別】 72歳台 男性

【臨床診断】 右肺癌

【臨床経過・術式】

8カ月前にCTで右中葉S4にスピキュラと胸膜陥入を伴う18mm大の結節を指摘され、原発性肺癌の疑いで当院呼吸器内科を紹介受診。

7カ月前に気管支鏡検査で施行。細胞診・組織診で肺癌と診断された。PET-CTでは右中葉S4結節に集積あり。他に異常集積なし。

右中葉切除とリンパ節郭清が施行された。

* 本症例では合計6領域31個のリンパ節が郭清されている。ヴァーチャルスライドでは代表して上部気管傍リンパ節(#2)を供覧している。

右肺中葉切除検体

気管支, 肺動静脈断端

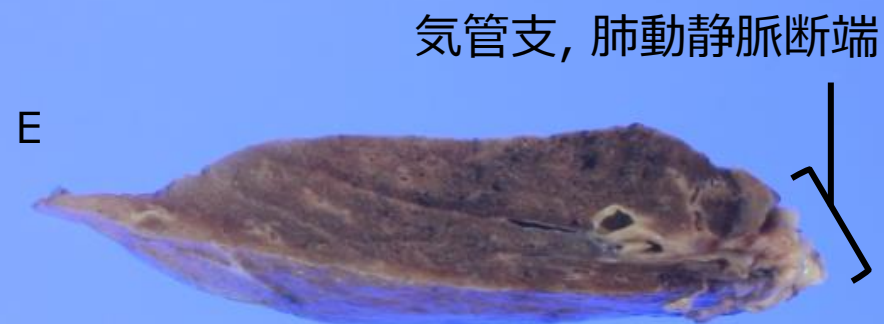


右肺中葉切除検体 (割線入り)



* 腫瘍は割線と垂直方向に
約 3.5 cm の範囲で存在

右肺中葉切除検体 (断面の写真)



* 腫瘍は割線と垂直方向に
約 3.5 cm の範囲で存在